

育てよう

# 鏡野のよい子シリーズ



## 「鶴喜小学校 伝統の銭太鼓」

十一月、鶴喜小学校に赴任して、初めての学習発表会がありました。それぞれの学年で群読や劇、歌や合奏などいろいろな発表がある中、鶴喜小学校では五・六年生の発表として、「銭太鼓」の発表をします。鶴喜小学校にお住まいの牧先生にお越しいただき、みんなで「伝統の銭太鼓」に挑戦するのです。

低学年の頃から高学年が披露する銭太鼓を見てきた子どもたち。五年生になったら銭太鼓ができるという憧れをもっており、銭太鼓の練習ができることをとても楽しみにしていました。

学習発表会の練習が始まった十月。銭太鼓の練習に計画された時間は十時間でした。五年生は、初挑戦の銭太鼓。たったの十時間で本当に一曲完成するのだろうか、どうやって銭太鼓の指導が行われるのだろうかと私は不安や疑問でいっぱいでした。しかし、子どもたちは気合い十分。一時間目から、銭太鼓を持ち、姿勢や持ち方など基本的なことからしっかりと教えていただきました。指導は先生が前でお手本を見せてくださり、曲に合わせて少しずつ技を増やしていきます。「前取り」「逆取り」など取り方の名前も教えてくださいました。子どもたちはどんどん吸収していき、一時間でこんなにできるようになりました。今年曲は六年生が選曲した「アトラクトライト」という曲でした。「うまくいかないことばかり、何度やっても失敗ばかり。でもこれであきらめていいのか、やり続けた先に

希望の光が見える」そんな歌詞でした。その歌詞がまさに子どもたちにぴったりで、何度失敗しても、諦めず、休み時間までも練習する姿がありました。練習も終盤になると、子どもたちは本当にびっくりするほどの上達で、初めと比べて目の真剣さも違ってました。一回の練習が二時間続き、集中力や忍耐力も必要です。しかし、どんな時子どもたちも一生懸命で、練習を見る度、先生に必死に食らいついていこうとする姿勢は、何度見ても、涙が出るほどでした。そのような姿に本当に心を打たれ、必死に頑張ることの素晴らしさ、かつこよさを感じました。

時代とともに、新しいものがどんどん広がっていく中、自分たちの「伝統」と思えるものがあるのは、とても幸せなことだと思います。この先、成長し、新たな世界に進んでいく子どもたちですが、地域に誇れるものがあるということ、残したい伝統があることは素晴らしいことだと思います。そして、みんなで心を一つに、一つのことを頑張った経験は、必ずよい思い出になることと思います。これからもこの素敵な地域の誇りの「銭太鼓」を守り、受け継いでいってほしいと願っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鶴喜小学校 福島 結子

# のびのびひろば

(富保育園)



お散歩行ってきます



辺り一面真っ白



見て！ぼくの形ができるよ

ふるさと公園の池



おっこつ

**わくわく!**  
**\*楽しい冬がやってきたよ\***

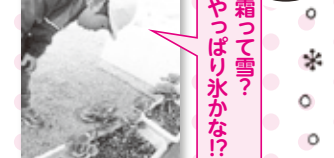
大人にとっては寒い冬、でも子どもたちにとっては楽しい季節。氷が張ったり、霜柱ができたり、雪が降ったり、面白い自然現象に毎日ワクワクしています。12月になって雪が積もり、雪遊びを楽しみにしていた子どもたちは、寒さも忘れて外に駆け出し「雪だるま作りたい」「ソリで遊ぼう」と冬ならではの遊びに夢中になっています。冬の外遊びは楽しいことがいっぱいですが、学びになることもたくさんあります。体中で冬を感じながら、思い切り楽しんで欲しいと思います。



ぎゅっぎゅっ 足音が楽しいな



スケートできそう



霜って雪？ やっぱり氷かな!?



スリル満点!



雪のお布団 ふわふわ~



雪山からヤッホー



雪遊びの後は 足湯温泉

あったかーい♡